

6 アンケート結果

問1 あなた自身のことを教えてください。

性別	1. 男	10人
	2. 女	4人
年齢	1. 10才未満	—
	2. 10才～19才	7人
	3. 20才～29才	6人
	4. 30才以上	1人

問2 北方領土隣接地域から直接北方領土を見るのは何回目ですか。

1. 始めて	14人	4. 4回目	—
2. 2回目	—	5. 5回目以上	—
3. 3回目	—		

問3 この事業に参加して、参加する以前よりも北方領土問題に対する関心が深まりましたか。

1. 深まった	14人	4. まったく変わらない	—
2. やや深まった	—	5. どちらとも言えない	—
3. あまり深まっていない	—		

北方領土問題のどのような点に関心が深まったか、具体的に記入してください

<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土問題解決の解決方法について ・元島民の思い ・元島民だけでなく、漁業関係者への影響から解決しなければならない問題と再認識した ・今後、若い世代が向き合っていかなければならないということ ・世代間による北方領土問題への関心、意識に相違があること ・隣接地域住民の中でも北方領土問題への関心、意識に相違があること ・北方領土問題の歴史的背景について ・ビザなし交流などの啓発事業について

問4 最も関心を持ったプログラムは何でしたか。

1. 北方領土視察(目で見ると北方領土)	7人	4. 啓発施設の見学	—
2. 元島民の体験談	1人	5. 体験学習	—
3. 訪問先での青少年との交流	6人	6. その他	—

問5 最も改善すべき点があるプログラムは何でしたか。

1. 北方領土視察(目で見る北方領土)	1人	4. 啓発施設の見学	4人
2. 元島民の体験談	4人	5. 体験学習	—
3. 訪問先での青少年との交流	4人	6. その他	—

※特になし 1名

上記で選択したプログラムをどのように改善すべきか、具体的に記入してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・元島民、地元高校性との連絡調整が不足していたのではないか ・啓発施設の見学では同じ様な内容の話を伺うが多かった ・啓発施設ではもう少し時間に余裕を持ち見学できれば良かった ・複数の元島民の方からお話を伺いたかった
--

問6 新たに取り入れた方が良くと思うプログラムがあれば記入してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・視察事業を通してのまとめ・発表する機会(より考えが深まると思う) ・1日の振り返りやディスカッションの場 ・ビザなし交流参加者の講演 ・ロシア人との交流 ・地元の住民や返還運動関係者との交流 ・政府関係者の講演 ・北方領土の現状を知る事ができる内容も
--

問7 また機会があれば、北方領土問題に関する事業に参加したいと思いますか。

1. 思う	12人	4. まったく思わない	—
2. やや思う	2人	5. どちらとも言えない	—
3. あまり思わない	—		

上記1および2の選択肢を選んだ方は、どのような事業に参加したいですか。

<ul style="list-style-type: none"> ・実際の北方領土の視察(ビザなし交流等) ・領土問題の伝達運動 ・返還後のプラン作成 ・ロシア人との交流 ・地元学生の北方領土啓発授業 ・元島民の講演会 ・返還後のあり方を議論する場
